



左から 天主跡 (S16)・取付台虎口 (S48)・伝本丸跡 (H11)・天主台石垣 (R5)

「幻の安土城」復元プロジェクト・歴史セミナー

## 特別史跡安土城跡

### 調査整備の過去・現在・未来

#### プログラム

14:00～14:30 「特別史跡安土城跡調査・整備の85年」

岩橋隆浩 (滋賀県文化財保護課主幹)

14:30～15:20 「私の戦国史研究と安土城」

小和田哲男氏 (静岡大学名誉教授・特別史跡安土城跡調査整備検討会議委員)

15:20～15:30 休憩

15:30～16:30 パネルディスカッション特別史跡安土城跡 調査整備の過去・現在・未来

パネラー：小和田哲男氏・岩橋隆浩

コーディネーター：木戸雅寿 (滋賀県文化財保護課参事員)

日時：令和7年(2025)5月17日(土) 14:00～16:30

会場：G-NETしが 滋賀県立男女共同参画センター

滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4

主催：滋賀県(文化スポーツ部文化財保護課)

発行日：令和7年(2025年)5月17日

編集・発行：滋賀県文化スポーツ部文化財保護課

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

TEL077-528-4678 FAX077-528-4956 E-Mail castle@pref.shiga.lg.jp

URL <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/bunakasports/bunkazaihogo/>



# 特別史跡安土城跡 調査・整備の85年

2025.5.17 「幻の安土城」復元プロジェクト・歴史セミナー

安土城築城 450 年記念・安土城跡発掘調査 85 年記念

滋賀県立安土城考古博物館令和 7 年度春季特別展連携事業

滋賀県文化スポーツ部文化財保護課 岩橋隆浩

はじめにー本日の構成とねらいー

- ◎安土城跡における調査整備の歴史を知る
- ◎安土城跡で行われた発掘調査の概要を見る
- ◎本資料により昭和～令和の発掘調査のトピックを知らせる

## 1. 安土城跡における調査整備の歴史

### ①戦前の環境整備事業（大正末～昭和 16 年）

安土山全山の実測（県林務課の仕事 大正 12 年）

史蹟に指定される（大正 15 年）

安土保勝会による城内の環境整備（昭和 4 年～）

案内標石や史跡境界柱の設置

園路の整備（石段等の改修）

天主台・伝本丸の環境整備（昭和 15 年度～16 年度）

安土城跡ではじめての発掘調査

### ②昭和の環境整備事業（昭和 35 年度～昭和 50 年度）

園路整備と石垣の修復・・・発掘調査はきちんと行われていない可能性が高い

### ③平成の調査整備事業（平成元年度～平成 20 年度）

広く城内で事業を実施

城内主要道確認調査

城内主要遺構確認調査

安土山南面遺構確認調査

環境整備工事とそれに伴う発掘調査

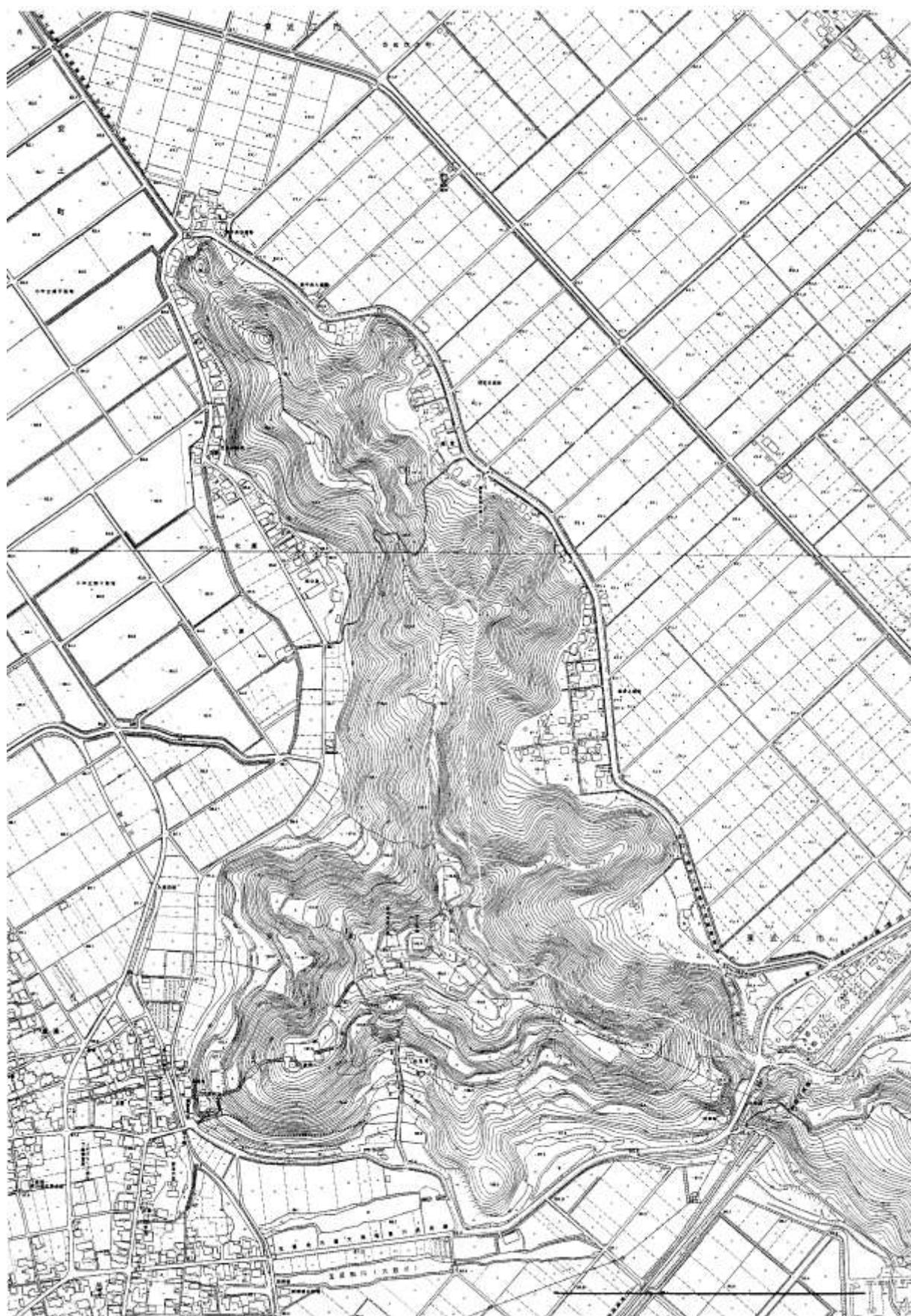
城内石垣悉皆調査 などなど

### ④令和の調査整備事業（令和 5 年度～）

平成の調査整備事業で未着手だった個所を対象に

まずは天主台とその周辺で・・・遺構の保全と活用を目指す





PL 2 安土城跡と周辺の地形図（縮尺不同）

## 2. 安土城跡における発掘調査

### ①昭和 15～16 年度の発掘調査

#### ◎調査の目的

自然崩壊する天主台と本丸の保存工事の事前調査

**⇒史跡の保存工事に伴う調査**

#### ◎調査の概要

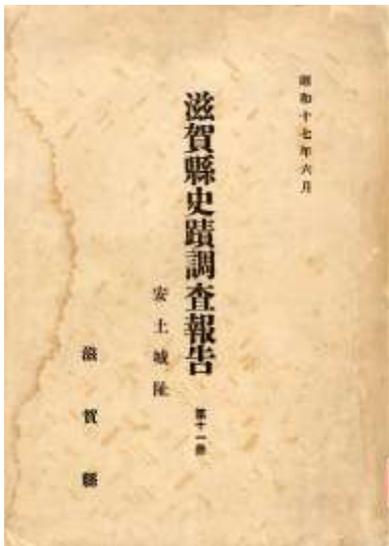
天主台と本丸の発掘調査、摠見寺・城下の調査を行なっている。

調査前の天主台と本丸の様子

一面瓦礫の山で、何がどこにあるのか一見してわからない状態。

瓦礫や土砂を除去して、建物礎石や天主台を検出した。

現在我々が見ることの出来る状態に、この時になった。



本丸御殿址調査前現狀 第七圖

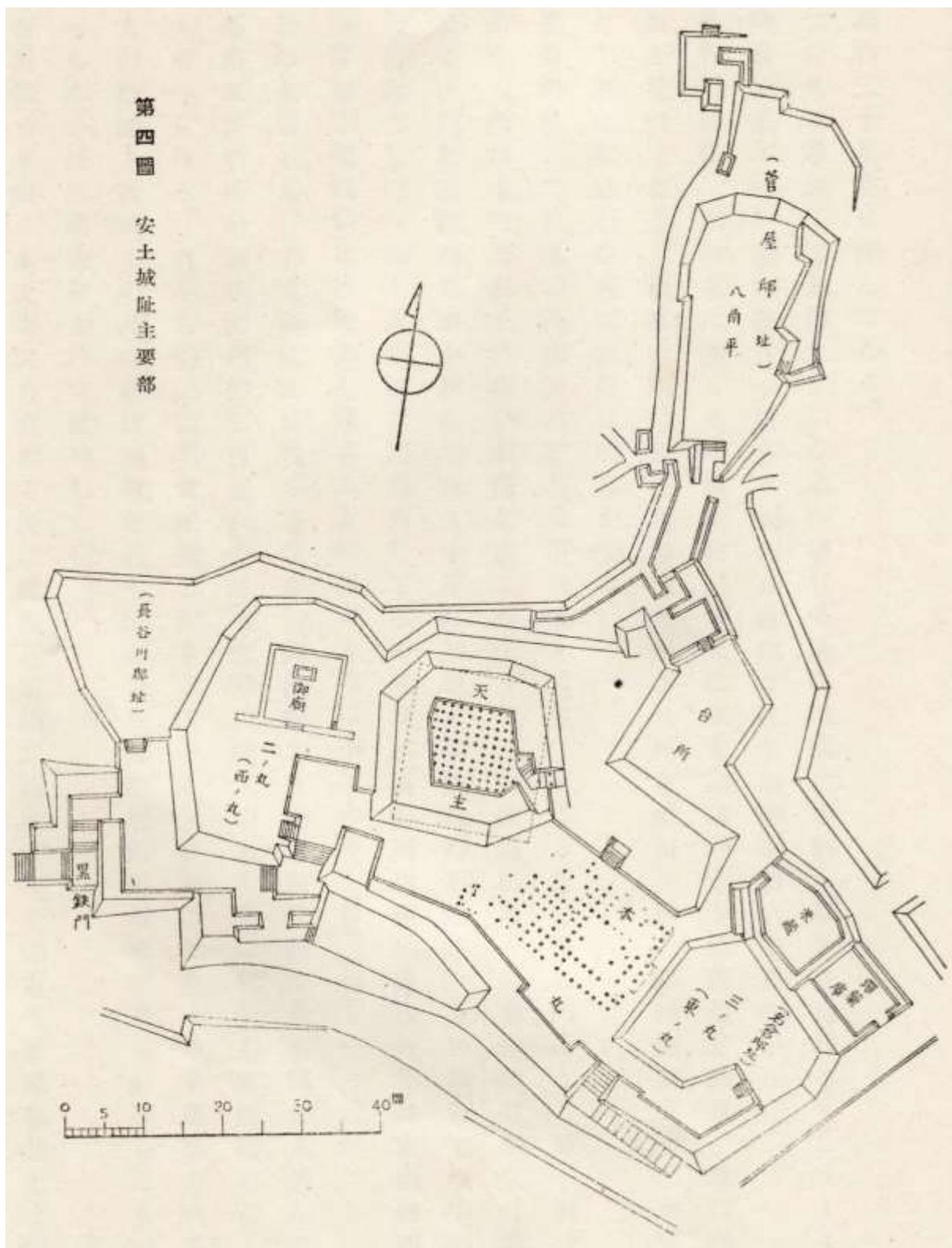


天主台陸地整地前現狀 第五圖

PL 3 昭和の発掘調査報告書（『滋賀縣史蹟調査報告書 第十一冊 安土城址』より転載）

上左：報告書表紙 上右：本丸の調査前状況

下左：天主台登り口の調査前状況 下右：天主台穴蔵内の調査前状況



PL 4 昭和 15~16 年度の主郭部平面図 (『滋賀縣史蹟調査報告第十一冊(安土城址)』より転載)

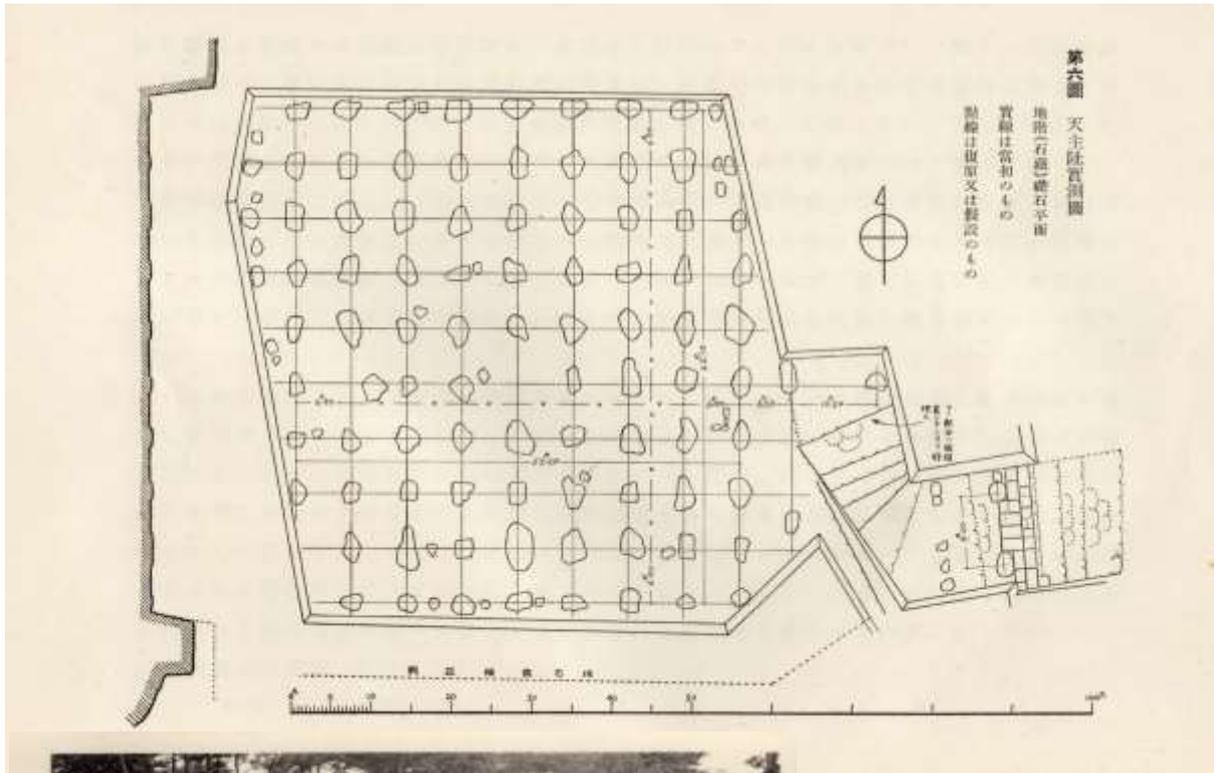


圖 第九

（左端を東に）西・壁内礎石）圖 主 天（一）

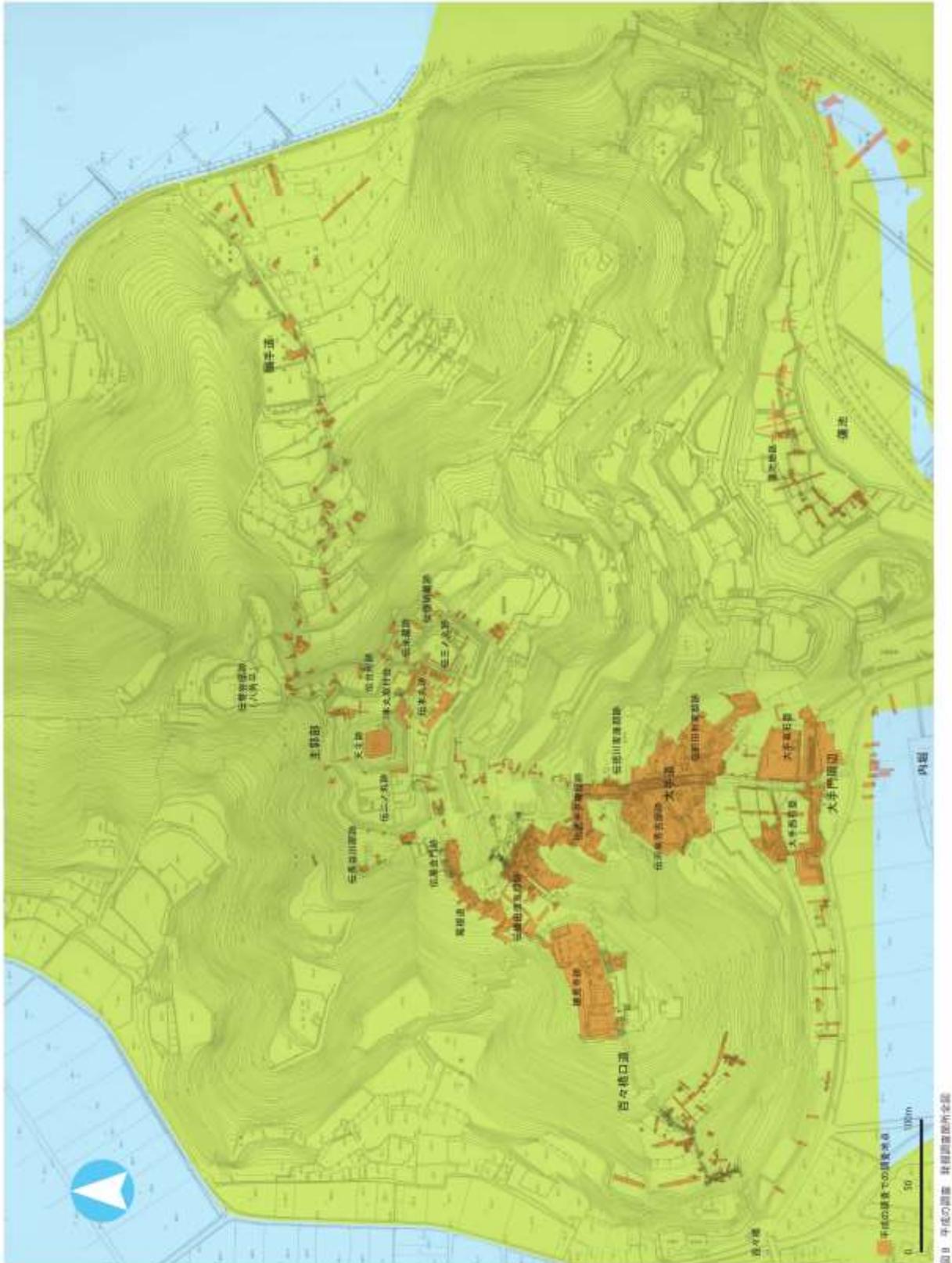


（中央を礎石・壁内礎石）主 天（二）

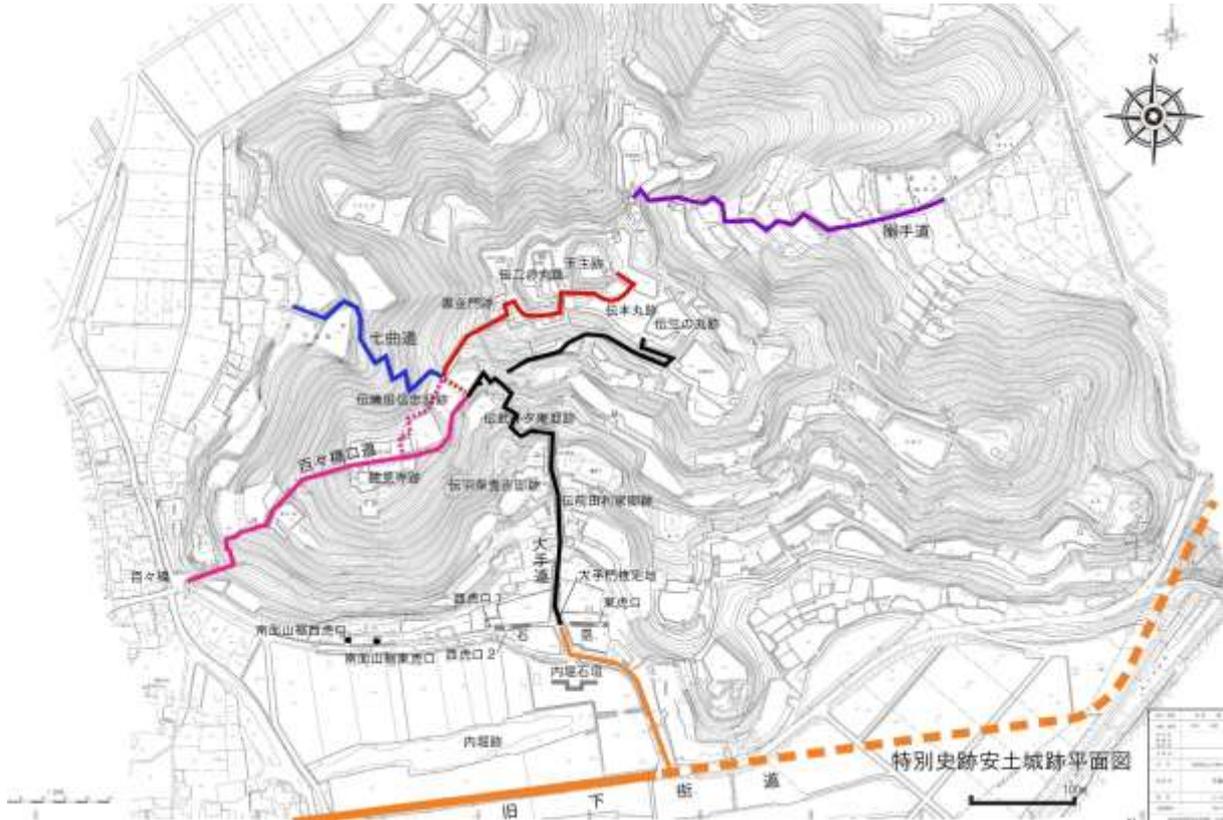
PL5 昭和15年度の安土城跡天主台平面図(縮尺不同)と発掘調査完了状況写真  
『滋賀縣史蹟調査報告書 第十一冊 安土城跡』より

## ②平成の発掘調査

※確認調査：城内主要道確認調査・城内主要遺構確認調査・安土山南面遺構確認調査  
環境整備に伴う発掘調査



PL 6 平成の発掘調査箇所（『安土城・2025』より転載）



PL 7 安土城の城内道

◎大手道と周辺の郭の調査

城内主要道確認調査

環境整備に伴う発掘調査

現道(昭和初期に修復された道)の下から  
大手道を発見

一直線に伸びる大手道

大手門から約 180mの区間

路面幅は約 6 m

両側溝を含むと約 8 mの幅

側溝の外側には石塁が立ち上がる

伝織田信忠邸前まで大手道のルート確定

大手道に面した郭の様子が明らかに

伝羽柴邸下段：虎口には櫓門 郭内には  
厩と推定される建物跡

伝羽柴邸上段：虎口には高麗門 高麗門  
脇には隅櫓 郭内には複雑な構造の主殿

伝前田邸：上中下の 3 段からなる郭

中段が屋敷地の中心とみられる



PL 8 大手道のルートと周辺の郭(『安土城・2025』より)



PL9 大手道の調査前(上)と調査中(中)および伝羽柴邸・伝前田邸遺構復元平面図(上『安土城 1999』中・下『安土城・2025』より)

◎大手口とその周辺の調査

城内主要道確認調査と環境整備に伴う発掘調査 安土山南面遺構確認調査  
 大手口～百々橋口・大手門周辺・大手前広場・蓮池周辺・北腰越南面で調査  
 大手門両脇の石塁と複数の虎口の発見・・・大手門の西に2ヶ所東に1ヶ所の虎口  
 大手門前面広場と内堀石垣の一部が明らかに  
 百々橋口と大手口を結ぶ通路？の発見 蓮池周辺の遺構の概要が明らかに



PL10 大手口付近平面図（『安土 信長の城と城下町』より転載）

◎百々橋道とその周辺の郭の調査

城内主要道確認調査  
 現道が旧来の百々橋道を踏襲していることを確認  
 現道は大手道とともに昭和初期に修復された道  
 旧摠見寺境内地の遺構が明らかに  
 旧摠見寺境内では一部で下層遺構の存在を確認



PL11 百々橋道現道と現道の下層遺構（『安土 信長の城と城下町』より転載）

## ◎搦手道とその周辺の郭の調査

### 城内主要道確認調査

搦手道のルートと諸郭の様相が明らかに

搦手道の役割の解明・・・湖辺部・山麓部・山腹部で違う

用途による道の構造の違いが判明

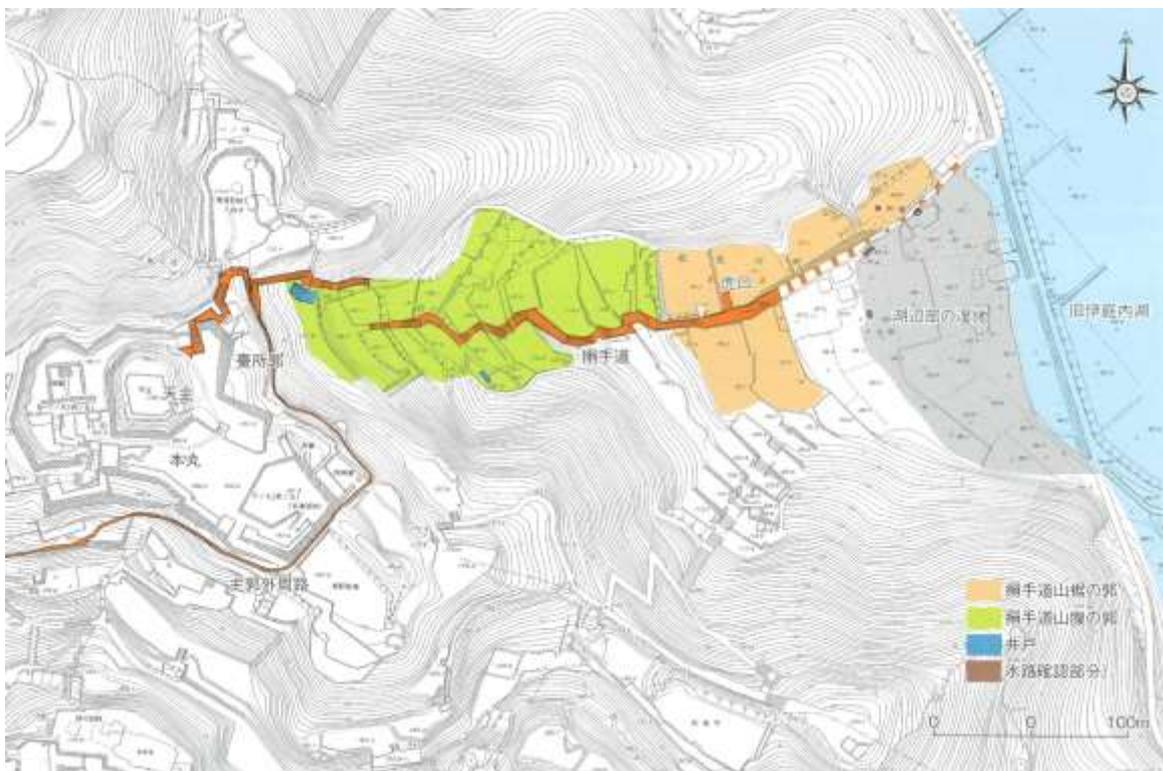
山麓部のスロープと山腹部の石段・・・山麓部には伝蔵屋敷跡

湖辺部には通路を示す遺構なし・・・内湖の入江状の地形・・・舟入か

荷札と考えられる木簡の発見

※遺構や絵図による伝承と併せて「物資搬入路」としての役割が明確に

非常に良好な状態の金箔瓦の発見



PL11 搦手道関連図（1）（上：搦手道のルートと周辺の郭 下左：山麓部の虎口 下右：山腹部の搦手道 いずれも『安土 信長の城と城下町』より転載）

◎主郭部の調査

主郭南面：主郭外周路（PL14）

黒金門直下は城内主要道確認調査時に確認調査を実施

主郭外周路の遺構の一部が明らかに・・・主郭外周路＝大手道？

主郭東面：伝堀邸・伝煙硝蔵・伝米蔵・伝台所

伝米蔵では金箔鯨瓦を含む多量の瓦が出土

※伝三の丸側から火事場整理で落とされた？

伝台所では炊事関連遺構を確認

主郭北面：主郭北虎口・天主台北面

主郭北虎口の門の位置などが明らかに

主郭西面：伝長谷川邸・二の丸南帯郭・二の丸東溜

一の門（黒金門）から三の門までの遺構を確認

二の丸東溜で火災にあった建物跡を発見

主郭中心部：天主台・伝三の丸・本丸取付台・伝本丸

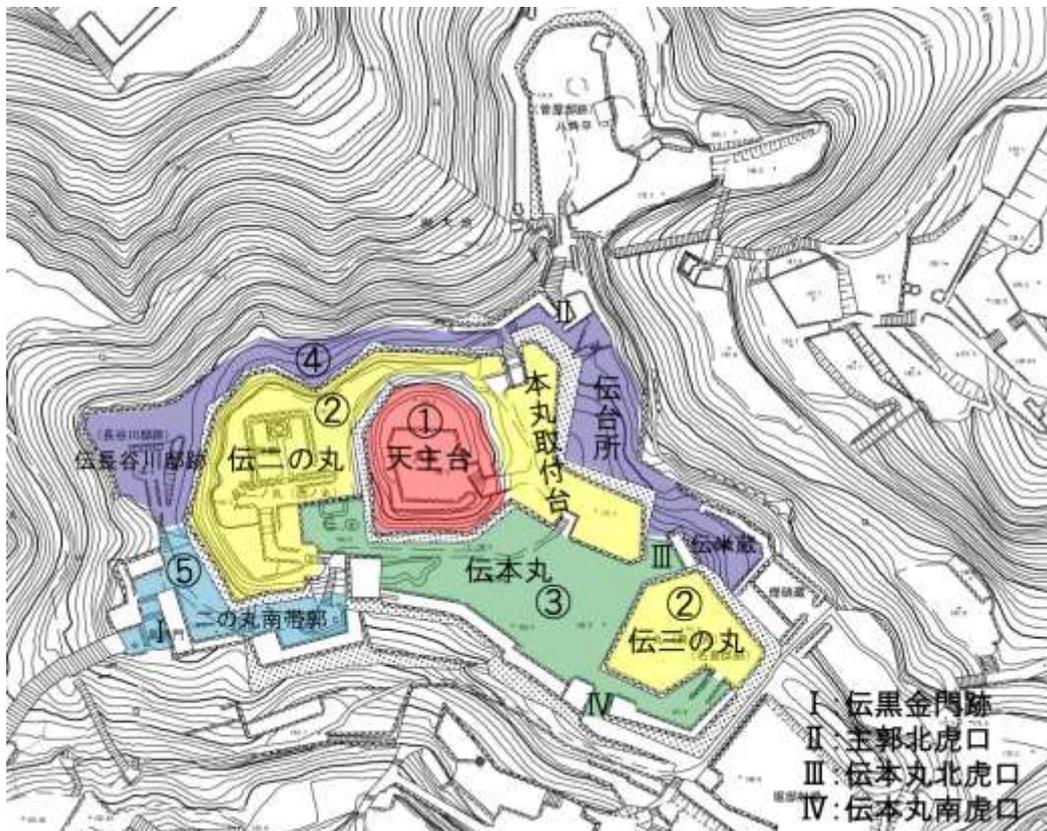
本丸中心建物の礎石配列と建物周辺の施設が明らかに

本丸中心建物の間取りの復元が可能に

慶長度清涼殿に酷似した建物との推測・・・ここが「御幸の御間」？

天主台穴蔵内の礎石配列が確定

伝三の丸・本丸取付台・伝本丸西半では建物の一部が明らかに



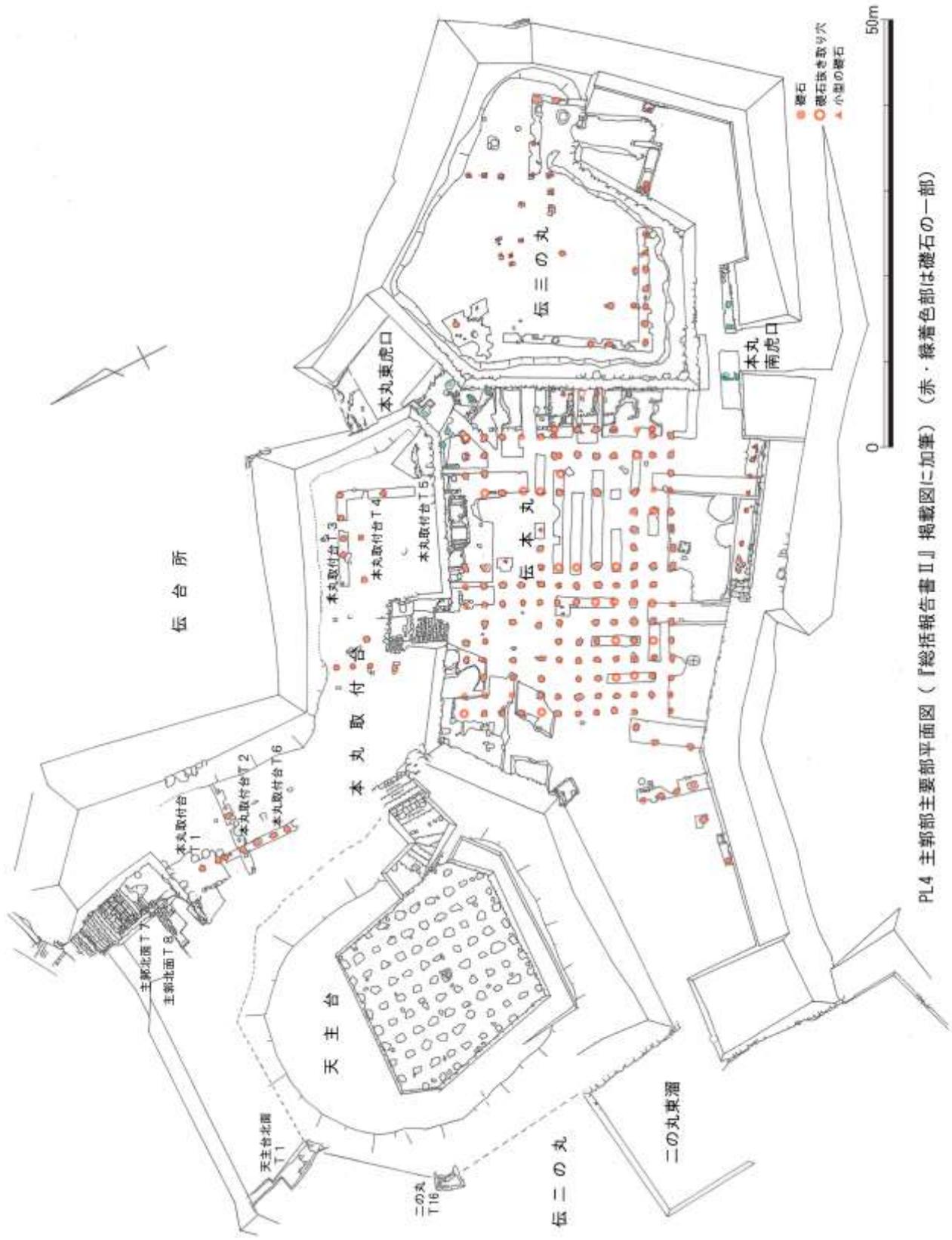
PL13 安土城主郭部の各郭とその高さ関係



PL14 主郭部関連写真(1)  
(上:主郭外周路『安土 信長の城と城下町』より転載 中:伝米蔵出土金箔鯨瓦『安土城 1999』より転載 下:主郭(本丸)北虎口(『安土 信長の城と城下町』より転載)

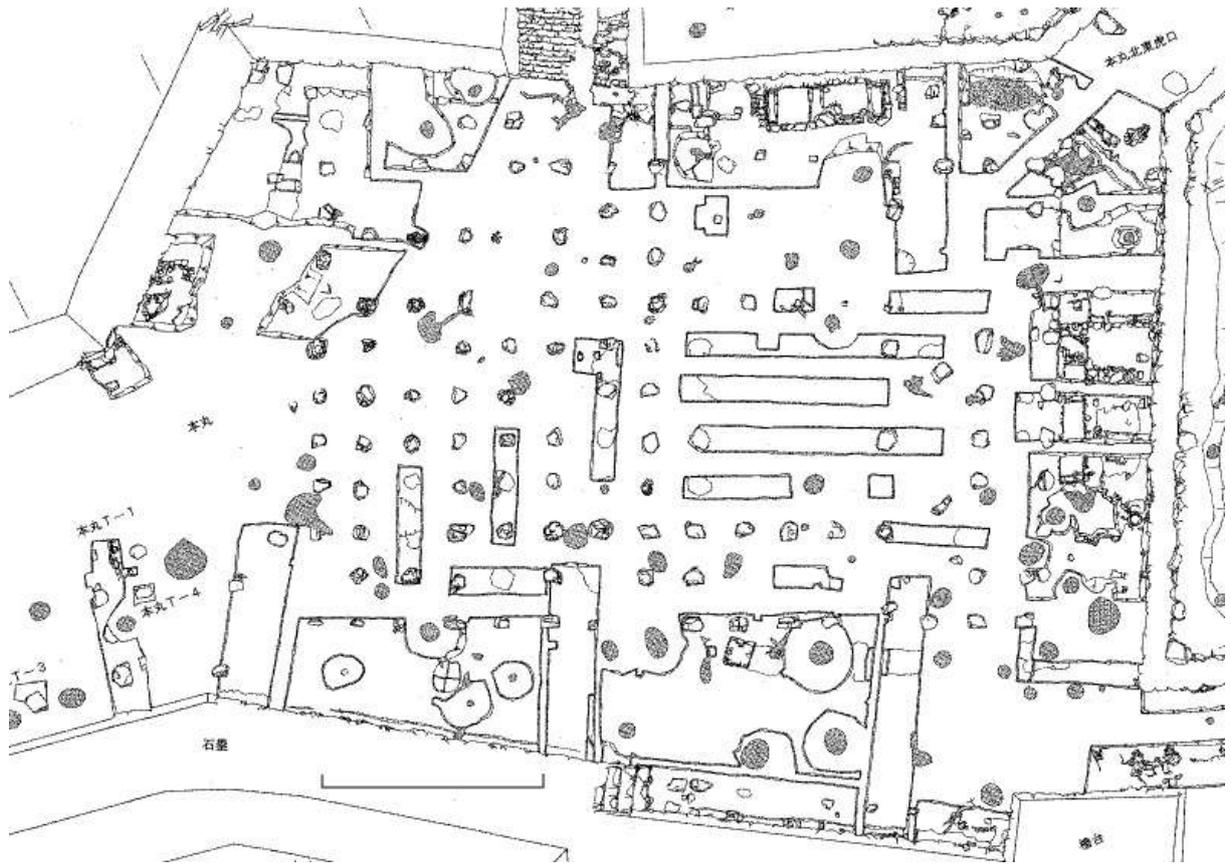


PL15 主郭部関連写真(2)  
(上:主郭(本丸)北虎口『安土 信長の城と城下町』より  
中:二の丸東溜建物跡『安土城を掘る』より  
下:天主台穴蔵床面の状況『安土城を掘る』より転載)



PL4 主郭部主要部平面図（『総括報告書Ⅱ』掲載図に加筆）（赤・緑着色部は礎石の一部）

PL16 主郭部主要部平面図（『総括報告書Ⅱ』掲載図に加筆）（赤・緑着色部は礎石の一部）



PL17 伝本丸跡関連図（上：『発掘調査報告書12』より 下：『安土城を掘る』より転載）

### ③令和の発掘調査（令和5年度～）

#### ◎調査の目的

平成の調査整備事業で未着手の箇所を対象に遺構の保全と活用を目指す

#### ◎調査の概要

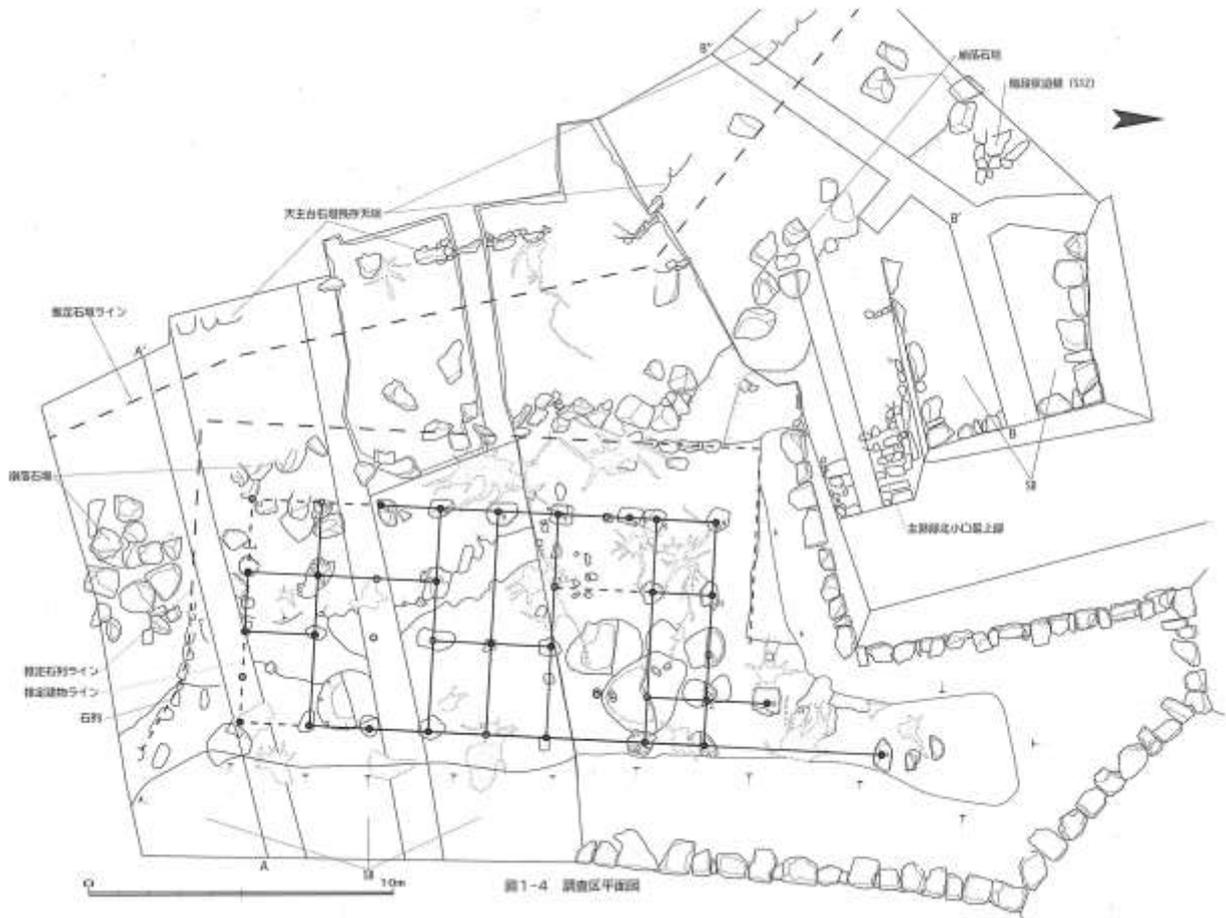
天主台東面・北東面、本丸取付台（天主台の東直下の郭）より着手

天主台東面～北東面：天主台の崩壊状況、北東隅角・北北東隅角が明らかに

本丸取付台：本丸取付台北半の建物の様子などが明らかに

本丸や天主の礎石と変わらない大型の礎石を使用

4間以上×7間以上の礎石立ち建物



PL18 令和の調査関連図（上：R5～6 調査地平面図 下左：R5 天主台と建物跡 下右：R5 建物遺構）



PL19 令和の調査関連写真(上:R5 天主台東面崩落状況 下:R6 建物遺構)

#### 引用文献

本資料に使用した図および写真の出展元は以下のとおりである。

『安土城 1999』 = 『安土城・1999』

『安土城を掘る』 = 『発掘調査 15 年の軌跡 図説安土城を掘る』

『安土 信長の城と城下町』 = 『発掘調査 20 年の記録 安土 信長の城と城下町』

『安土城 2025』 = 『安土城・2025－信長の夢のあと－』

『総括報告書Ⅱ』 = 『特別史跡安土城跡発掘調査報告書Ⅱ 主郭、搦手道の調査および総括』

『滋賀縣史蹟調査報告書 第十一冊 安土城址』

# 私の戦国史研究と安土城 — 安土城によせる思い —

静岡大学名誉教授・文学博士  
特別史跡安土城跡調査整備検討会議委員  
小和田 哲男

## 1. 城から入った私の戦国史研究

大学1年の時に訪ねた安土城

その頃の城研究は「趣味の世界、学問ではない」

私の初の著書は『近江の城下町』（助野健太郎先生と共著） 昭和46年（1971）

## 2. 安土城跡発掘調査の歩みから

昭和15・16年（1940・41）の発掘調査と天主推定復元

平成元年（1989）からの発掘調査の成果と課題

- ① 直線の「大手道」をどう見るか
- ② 「伝本丸」の礎石配置をどう見るか

令和5年（2023）からの発掘調査の成果と課題

- ① 破城の痕跡をどう見るか
- ② 「伝本丸取付台」の発掘調査から

## 3. 「貞享古図」の名称から離れた正しい曲輪名称を！

徳川家康邸が安土城内にあるわけではない

「伝二の丸」が実は本丸だったのでは？



令和7年度春季特別展 安土城築城450年・発掘調査85周年記念

# 安土城

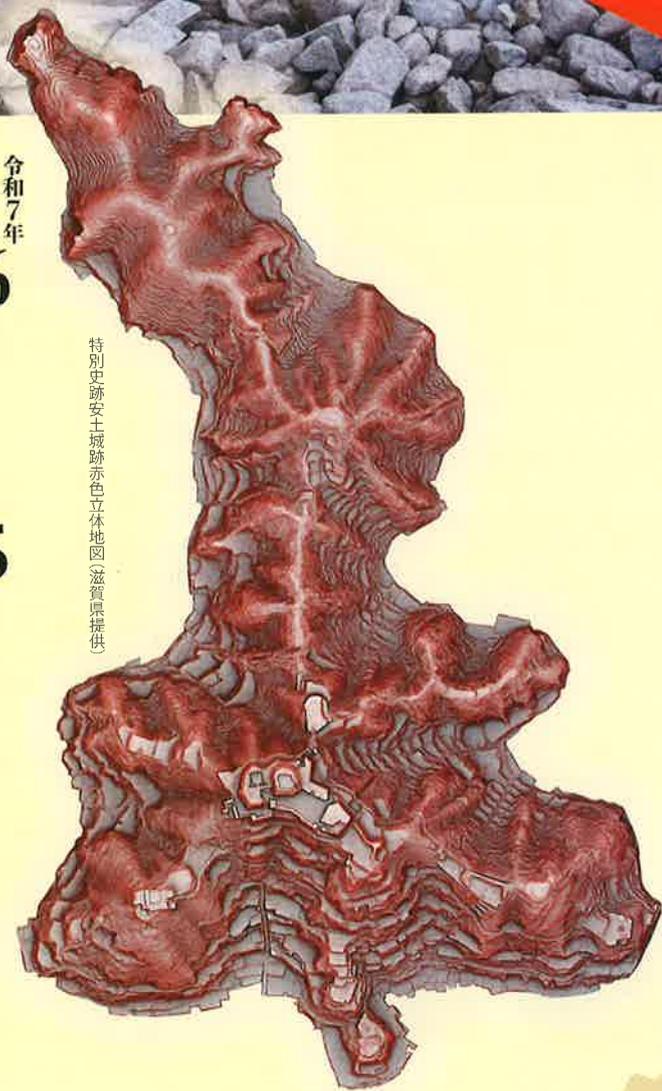
# 2025

## 信長

## の夢のあと



令和5年度発掘調査区天主台東側斜面・本丸取付台 滋賀県提供



特別史跡安土城跡赤色立体地図(滋賀県提供)

令和7年  
4月26日(土) - 6月15日(日)

◆開館時間 午前9時〜午後5時 ※入館は午後4時30分まで

◆休館日 5月7日(水)・12日(月)・19日(月)・26日(月)・6月2日(月)・9日(月)

◆入館料 大人970円(750円) / 大学生700円(520円) / 小中高生420円(310円) / 県内高齢者(65歳以上)510円(390円) ※( )は20人以上の団体料金です。

◆主催 滋賀県立安土城考古博物館

※リニアアルオ―フン当初は、混雑が予想されますので、シアターを視聴される方は、事前予約がお薦めです。

近江風土記の丘

滋賀県立 **安土城考古博物館**  
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

令和7年度地域連携企画展

### 「明智光秀と近江」

6月3日(火) - 8月3日(日) 会場：第2常設展示室

# 安土城・2025

## — 信長の夢のあと —

安土城は織田信長が天正4年(1576)から築城を開始し、天正7年頃には天主周辺の主郭部が一旦完成したものの、天正10年の本能寺の変直後に明智光秀の軍勢に占拠され、まもなく天主をはじめとする主郭部が焼失しています。

これまでは上記のような信長在世期の安土城にスポットが当てられてきましたが、信長死後の安土城についてはあまり注目されることはありませんでした。しかし安土城は、信長が横死し、廃城となった後も維持管理され、また調査・研究・整備を通して後世へ遺されてきました。

本展では安土城を歴史的に捉えるという原点に戻り、廃城以降の安土城の変遷をたどります。そして昭和、平成、令和と続く発掘調査と整備の成果を紹介いたします。

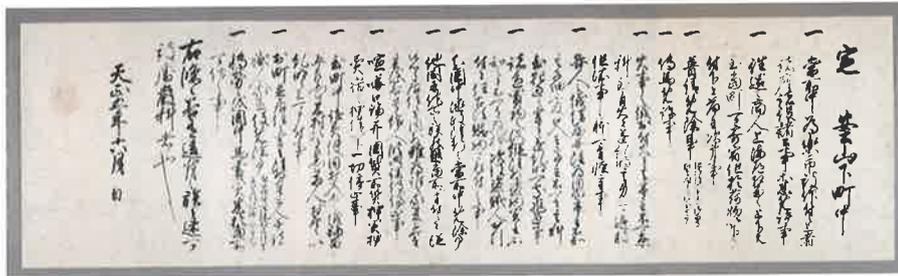
【主な展示資料】 ◎は重要文化財 □は市指定文化財



伝二の丸下帯曲輪 昭和35～40年の石垣修理状況 (滋賀県提供)



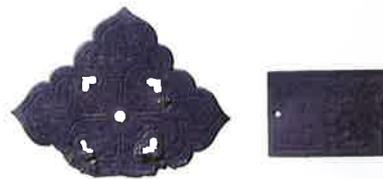
□ 近江国蒲生郡安土古城図 (摺見寺蔵) ※ 4/26～5/18



◎ 安土山下町中掟書 (近江八幡市蔵) ※ 4/26～5/18



伝二の丸東溜り出土瓦群 (滋賀県蔵)



伝台所跡出土金具 (滋賀県蔵)

- ◎ 八幡山下町中掟書 (近江八幡市蔵) ※ 5/20～6/15
- ◎ 鉄鐔一永楽銭据紋銀象眼一 (摺見寺蔵) ※ 5/20～6/15 (4/26～5/18は複製品)
- 日本史 第二巻 (上松徹氏蔵)
- 仁正寺太守代々登山記録 (摺見寺蔵)
- 史蹟安土城址指定地内二建碑ノ件 通牒 (摺見寺蔵)
- 昭和15年天主台発掘調査時出土資料 (摺見寺蔵)
- 平成元年～20年発掘調査時出土資料 (滋賀県蔵)
- 令和5・6年本丸取付台発掘調査時出土資料 (滋賀県蔵)



令和6年度発掘調査区全景 (滋賀県提供)

### 春季特別展関連講座

## 「廃城以降から考える、安土城の歴史と調査」

① 5月10日(土) 13:30～15:00

### 「廃城後の安土城」

講師：佐藤佑樹 (当館)

② 5月24日(土) 13:30～15:00

### 「安土城 平成の調査」

講師：岩橋隆浩氏 (滋賀県文化スポーツ部文化財保護課)

③ 5月31日(土) 13:30～15:00

### 「安土城 令和の調査」

講師：松田篤氏 (滋賀県文化スポーツ部文化財保護課)

参加費：500円 (資料代)

定員：120名 (先着順)

※いずれも当館2階セミナールーム

### 城郭探訪

① 4月27日(日) 10:00～16:00 定員：10名

### 「観音寺城跡と桑實寺」

② 5月11日(日) 13:00～16:00 定員：20名

### 「安土城跡」

参加費：2,000円 (入山料、入館料、保険料含む) 雨天中止  
ホームページの予約フォームからお申し込みください。



〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678  
Tel. 0748-46-2424 Fax. 0748-46-6140  
e-mail : gakugeti@azuchi-museum.or.jp  
URL : <https://www.azuchi-museum.or.jp>

最新の情報は当館のホームページにてご確認ください。  
<https://www.azuchi-museum.or.jp>

安土城考古博物館



近江風土記の丘  
滋賀県立 安土城考古博物館  
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

※滋賀県立安土城考古博物館は、(公財)滋賀県文化財保護協会が指定管理をしています。